

特別展示

ポツンと文化財



文化財を壊すとどうなるか？

二度と修復ができません

「ポツン…」と時代の流れに

取り残される文化的資源を

私たちが保存・活用する

ことで、次世代に向けての

基盤を構築していかなければ

歴史・文化が廃れてしまいます

今回展示するのは「重光家住宅主屋」の

写真・民具・古文書などです。

今回の展示を通して

文化財の重用性や

保存の必要性を

考えるきっかけとなれば

幸いです。

｜開催時期 | 2024年1月9日(火)～1月29日(月)

｜開館時間 | 平日9:00～17:00 (土曜日は午前中のみ)

｜休館日 | 毎週日曜日 12日・13日・14日は共通テストのため休み

｜会場 | 別府大学18号館2F ギャラリーホール

現在と過去を

整理するのは
未来のためだ



重光家住宅主屋【橋本屋】

「建物」

設計 国会議事堂設計者 吉武東里

起工 昭和三年 棟上 昭和五年 完成 昭和七年

本を伏せたような切妻造りの入り母屋。北西の台所に明かり取りを兼ねた宝形屋根。継ぎ目の無い廊下

「歴史」

江戸時代中期から向田川河口に橋本屋と称する商家を営み、相当規模の営業を続け明治期を迎え「卸売」「仲買」「小売」を主たる業務として商業圏を拡大していった。また、その土地の地主でもあった。

【建物解説】

国見町東端に位置する向田地区に建つ。

木造平屋建、入母屋造の主体部の南西部から

土間玄関・帳場を南方に突出させ、

入母屋破風を重ねた重厚な構えをとり、

北西隅の台所には明取りを兼ねた特徴ある

宝形屋根を載せる。

設計は国東町出身の吉武東里

橋本屋10代目 重光宏哉

E-mail:a2012062@s.beppu-u.ac.jp

HISTORY MUSEUM